

実現!

# 区民の声と日本共産党の質問で区政が動いた!

## 障害者のスポーツ施設利用料が「無料」に

日本共産党区議団は、少なくとも2006年から区議会で障害者のスポーツ施設利用料を減免するよう提案してきました。今定例会で雨宮武彦議員の一般質問に対し、来年度から実施することを表明しました。(2022年4月実施予定)



一般質問する  
雨宮武彦議員

**問** 障害者の区施設のプール利用料は5年前から半額になり利用者も増えている。23区では13区が無料にしている。繰り返し質問してきたが、個人利用のプールを含め体育施設の利用料金を無料にすべき。また、障害者のスポーツ大会など団体利用も無料にすべき。

**答** 来年度から新宿スポーツセンター等スポーツ施設の障害者利用料金を免除する方向で検討を進めている。障害者団体や団体によるスポーツ大会等についても同様に検討を進める。

雨宮議員は、その他、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、障害者スポーツのさらなる振興策を求めました。

**問** 足立区は昨年、スポーツ振興課にスポーツコンシェルジュ担当係を設置、障害者の運動・スポーツに関する相談、活動情報の案内等に取り組んでいる。江戸川区はスポーツ振興課に障害者スポーツ係を設置し「体験事業」「啓発事業」「人材育成事業」を行っている。両区のように障害者スポーツの推進のために専門係の設置を。

**答** 区やレガスは障害者からのスポーツに関する相談等に対応しているので専門係の設置の予定はない。

**問** 障害者スポーツの専門的な知識と技能有する「障害者スポーツ指導員」を養成するため、区として講習会を開催し、指導員を増やすべき。

**答** 区主催の講習会の予定はないが、区民が障害者スポーツに携われる場の提供を検討する。



## 安心して「育休」取ってね!

「働き続けながら、2人以上子どもを産み育てたい!」というママ・パパたちにとっての「保育園第2子以降の壁」問題。日本共産党の近藤なつ子議員が代表質問で、安心して妊娠出産できる制度に改善する提案を行いました。



代表質問する  
近藤なつ子議員

### 下の子が2歳になるまで 上の子の保育園在園が可能に

2017年の育児・介護休業法の改正により、子どもが1歳6ヶ月に達した時点で保育園には入れない場合2歳になるまで育休を園長できるようになり、23区では上の子の在園期間を2年に延長する区が増えています。



「新宿区でも延長して欲しい!」と区民から議会に陳情が寄せられ、日本共産党はこの声を受け議会でも質問してきましたが、ようやく新宿区も現行1歳半を2歳まで延長する(自営業の方が育休該当期間に休業することもOK)運びとなりました。

### 「育休」中の転職で退園させないで!

「育休中に転職したら上の子が保育園を退園させられた」という区民の事例が東京新聞で取り上げられ、23区では育休中に転職しても上の子が在園を継続できる区が多くあることが紹介されました。区民からも育休中の転職を認めるよう陳情が出されていました。近藤議員の質問では、育休中に転職しても保育が必要な状態は変わらず、子ども子育て支援法施行令に照らせば退園させるのは法令違反ではないかと追及。区の姿勢は法令違反ではないと言って改善の意思は示されませんでした。

### 里帰り出産の対応改善を!

保育園に在園する上の子を連れて里帰り出産する場合、上の子の休園を認めるのは1ヶ月半が基本とされていますが、出産を受け入れる産婦人科医の指示がある場合などは3ヶ月まで認められています。

しかし、このことがホームページ等に明記されおらず、窓口での対応が人によって異なり不公平が生じる事例がありました。日本共産党は、「誰が見てもわかるよう改善を。」と求めましたが、区は「柔軟に対応する」と言うだけでホームページ等への明記を拒みました。

#### 【日本共産党の代表質問項目】

- 1 第6波に備えた新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 コロナ禍で苦しむ事業者への支援について
- 3 保育園・学童クラブ等について
- 4 地球温暖化対策としての樹木の保全について
- 5 区営自転車等駐輪場の廃止と民設民営化について
- 6 「清風園」問題について

## コロナ対策 第6波に備えを

新宿区の累計感染者数は18478人(11月28日現在)で、この約半数が第5波の時に集中し、在宅死された方や今も後遺症に苦しんでいる方がいます。ブレイクスルー感染も出ている中、第6波への備えが重要です。

近藤議員の代表質問では、①国の無料検査は対象を限定せず広く実施するよう要望すること。②区としてPCR・抗原検査キットを配布するなど無料検査の実施を。③区としてホテルを借り上げ、スポーツセンター等を活用し治療ができる「臨時病院」の準備を。などと質問しましたが、区長は自宅療養者の「一時滞在

施設」設置をするのみで、検査には相変わらず消極的です。

### ワクチン接種について

また、区長は12月に広報の臨時号を全戸配布し3回目の接種に関する情報等を発信することや、区内の大学や専門学校などに学生への周知を要請することや街の掲示板で周知については、「検討する」と答弁。

「ワクチンの有効性や在勤・在学の方への予約なし接種等の情報は区のSNSでも発信してきたが、1・2回目の未接種の全ての方への周知する」と答弁しました。